

## 【小中連携・合同授業】

中学校第3学年Aグループ・小学校第6学年 総合的な学習の時間学習指導案

指導者 中学校 教師  
小学校 教師

### 1 単元 「『生き方』について考えよう ～職場体験学習をとおして～」

#### 2 指導観

- 平成11年12月の中央教育審議会答申において、「初等中等教育から高等教育との接続について」取り上げられた。この答申は「進路指導が学校選びの指導になっていないか」との警鐘とも受け止められた。学校と職業，学校と生活の場としての社会のつながりを大切にされた教育，キャリア教育はこの答申から頻繁に語られるようになった。自分自身の進路選択の時期を間近にひかえた生徒たちが自分の興味や得意なことを生かした職業や生き方を知り，その職業に就くためにどのような学習や体験が必要かを考える機会として，本単元での取り組みは大変意義深い。
- 本校3年生の生徒は，目標にむけて誠実に努力しようと心がけている生徒が多い。将来の進路実現へむけて，ふだんの学習活動にもよく取り組み，職場体験学習においても意欲的に仕事に関わる態度を，事業所からも高く評価された。こうした社会経験をとおして，自分の役割や責任を自覚し，社会で役立つと心をもつことは価値があると考えられる。さらに「生き方」についての学習を深め，多様で幅広い他者との人間関係の構築ができる力を身に付けさせたい。
- Aグループは約100カ所の事業所での職場体験学習をとおして，世の中のしくみを知り，働くことの意義や仕事の大切さを学んだ。それぞれの職業観や勤労観について考える貴重な機会になったと考える。指導にあたっては，単に事業所での活動内容の説明に終始するのではなく，小中学生のお互いの夢を語り合えるような場にしたい。そのためには，今まで培ってきた聞く力や話す力を活用して，コミュニケーションをとる場面を多くもたせたい。また，説明の中から自分なりの課題を見出し，将来について考えることにつなげていきたい。

#### 3 小中連携の視点から

- 研究主題にある「学ぶ意欲」「豊かな感性」をどう育てていくかというときに，小中学校でそれぞれ取り組んできた総合的な学習の時間で，共有できるねらいとして“将来の職業選択”があげられる。小学生の視点からみた職業観をもとに，進路選択をひかえた中学生が実際に職場で体験学習を行い，社会ではどんな力が必要とされているかを直接伝えることができる機会である。「フューチャーラーニング」のテーマで学習してきた小学生と，「生き方」について追求してきた中学生が，それぞれの特徴やよさをふまえた教育活動を共有し，キャリア教育についての円滑なアーティキュレーションを可能にするものと考えられる。

#### 4 目標

- これまで総合的な学習の時間で取り組んできた「伝統」（1年次）や「国際理解」「社会参加

講座」(2年次)の学習内容をふまえて、自分の「生き方」について考え、職場体験学習を通して、将来の職業選択についての理解を深める。

- 自分の個性を理解し、主体的に進路を選択できる能力を高め、小中連携の学習を通して「社会に役立つ力」を身につけようとする意識を高める。

## 5 評価規準

	評価の観点	評価規準
[学]	学習活動への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に課題を見つけ、課題を探究していこうとする。</li> <li>・課題探究や発表の方法を、活動状況チェックやワークシート分析などを用いて探っていこうとする。</li> </ul>
[コ]	コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に即して、ポスターセッションを用い、自分の考えを社会に向けて発信することができる。</li> <li>・互いの立場を尊重しながら、よりよい考えを創り出すことができる。</li> </ul>
[課]	課題解決の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を探究していく中で、自己のよりよい生き方を考えることができる。</li> <li>・自分の将来にとって、何が重要か考えることができる。</li> </ul>

## 6 単元の指導計画 (67時間)

配時	学習活動・内容	留意点	観点：評価規準 ＜評価の方法＞
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生き方」について学ぼう</li> <li>全体ガイダンス</li> <li>・職場体験学習の取り組み</li> <li>・体験事業所希望調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの総合的な学習の時間の内容をふまえて、将来の職業選択への意識づけを行う。</li> </ul>	学：積極的に課題を見つけ、課題を探究していこうとする。 ＜様相チェック、プリント確認＞
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所決定</li> <li>・体験事業所についての調べ学習               <ol style="list-style-type: none"> <li>①事業所の場所や交通手段</li> <li>②活動内容</li> <li>③あいさつの練習</li> <li>④質問事項をまとめる</li> </ol> </li> <li>・マナー学習</li> <li>・体験ノートの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決定した事業所について、活動内容を理解させるとともに、自分なりの目標(課題)を設定させ、意欲的に取り組めるようにする。</li> <li>・体験ノートを十分に活用させる。</li> </ul>	学：課題探究や発表の方法を、活動状況チェックやワークシート分析などを用いて探っていこうとする。 ＜活動状況チェック、ワークシート確認＞
28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学習               <ol style="list-style-type: none"> <li>①グループ全体指導</li> <li>②事業所別指導</li> </ol> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に事業所に行かせて担当の方などと会い、確実に打合せを行わせる。</li> </ul>	コ：互いの立場を尊重しながら、よりよい考えを創り出すことができ

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業所へのあいさつ</li> <li><b>職場体験学習（5日間）</b></li> <li>・ 事業所へのお礼</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有意義な職場体験学習になるよう指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>る。</li> <li>&lt;活動状況チェック&gt;</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職場体験学習を終えて</li> <li>・ 自己評価および事業所評価</li> <li>・ 発表会へむけての準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前学習がどれくらい生かされたかを確認させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課：課題を探究していく中で、自己のよりよい生き方を考えることができる。</li> <li>&lt;様相チェック，ワークシート確認&gt;</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表会準備</li> <li>・ 発表会</li> <li>①グループ発表会</li> <li>②学年発表会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポスターセッションなどを通して，わかりやすく相手に伝える工夫をさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学：課題探究や発表の方法を，活動状況チェックやワークシート分析などを用いて探っていくとする。</li> <li>&lt;様相チェック，プリント分析&gt;</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職場体験学習発表会準備</li> </ul>		
本時	<b>職場体験学習発表会</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学生との交流を踏まえ，ねらいを確認させて内容を深めさせておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コ：課題に沿って，ポスターセッションを用い，自分の考えを社会に向けて発信することができる。</li> <li>&lt;活動状況チェック&gt;</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職場体験学習発表会を終えて</li> <li>・ 自己評価</li> <li>・ 「生き方」について学んだことをもとに「自分史」づくりの準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでの取り組みをふり返り，職業選択へむけての意識付けができたかを確認させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課：自分の将来にとって，何が重要か考えることができる。</li> <li>&lt;様相チェック，ワークシート分析&gt;</li> </ul>

## 7 本時 平成19年10月17日（水）第5校時

### (1) 本時の指導観

本時では、小中学生の交流の中で、中学生は小学生の描く「自分の夢、興味をもった職業」を聞き、小学生は中学生が実際に体験した職場の様子を聞くことで、それぞれが学習してきた内容を確認し、キャリア教育で必要とされる「生き方や進路について考える力」や「社会で役立つとする心」を高めることをねらいとしている。発表会ではポスターセッション形式で、中学生が職場体験学習で感じた仕事の大切さや苦勞などを小学生に説明し、将来の職業選択へむけて必要とされること何かをお互いに考えさせる。

(2) 主眼

[小]「フューチャーラーニング」の学習を深め、中学生になってさらに必要とされる「自分の考えを相手にわかりやすく説明できる力」を学ばせる。

[中]「生き方」についての学習を深め、キャリア教育で必要とされる「自分で進路を選択し決定できる力」を学ばせる。

(3) 準備

- ①ホワイトボード    ②プロジェクター    ③模造紙 (ポスターセッション用)
- ④学習ワークシート    ⑤質問紙

(4) 過程

学習活動・内容	○手だてや留意点    ◆〔観点〕＜評価方法＞
<p>1 小中連携での総合的な学習の時間のめあてを確認する。</p> <p>(本時のめあて)</p> <p>[小] 未来発表会で、自分に生かしたいことを考えよう</p> <p>[中] 職場体験学習で学んだ「生き方」を表現しよう</p> <p>2 事業所ごとに、小中学生の交流を行う。</p> <p>(1) 小学生が「自分の夢」を話し、各事業所への質問をする。</p> <p>(2) 中学生が体験事業所について説明を行う。</p> <p>(3) 交流をする。</p> <p>例：事業所に関するクイズ 模擬裁判のロールプレイ など</p> <p>3 本時の学習をまとめる。</p> <p>[小] [中] 自分の将来を考え、その実現のために何が必要と考えたか。</p>	<p>○小中学校、それぞれ代表1名の生徒が、本時のめあてについて確認し、発表会の意識付けをする。</p> <p>* 発表ブース例</p> <div data-bbox="734 851 1340 1344" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> </div> <p>○小学生は事前に希望をとり、6名1グループにしておく。</p> <p>○中学生は、ポスターセッションやプレゼンテーションなどで説明を行い、内容を分りやすく伝える。クイズや模擬裁判など、小学生が参加しやすいような工夫をさせる。</p> <p>◆〔コ〕＜活動状況チェック＞</p> <p>◆〔課〕＜活動状況チェック、ワークシート分析＞</p> <p>○小・中学生、それぞれ代表1名の生徒に発表させる。</p> <p>○小学生は、どんなことを自分に生かしたいと考えたか、また中学生は、「生き方」について十分表現できたかを振り返りまとめさせる。</p>

## 第3学年 B グループ 総合的な学習の時間学習指導案

1 本時 平成19年10月 第5校時

(1) 本時の指導観

本時では、小中学生の交流の中で、中学生は小学生の描く「自分の夢、興味をもった職業」を聞き、小学生は中学生が実際に体験した職場の様子を聞くことで、それぞれが学習してきた内容を確認し、キャリア教育で必要とされる「生き方や進路について考える力」や「社会で役立つとする心」を高めることをねらいとしている。発表会ではポスターセッション形式で、中学生が職場体験学習で感じた仕事の大切さや苦労などを小学生に説明し、将来の職業選択へむけて必要とされることは何かを互いに考えさせる。

(2) 主眼

小学校6年生に分りやすい説明になるように、体験したことを具体的に提示し、クイズやロールプレイなどを交えた発表を工夫する。

(3) 準備

①模造紙（ポスターセッション用） ②学習ワークシート ③質問紙

(4) 過程

学習活動・内容	○手だてや留意点 ◆〔観点〕評価<評価方法>
<p>1 今回の小中連携での総合的な学習の時間のめあてを確認し、本時のめあてを設定する。</p> <p>(めあて)</p> <p>職場体験学習で学んだ「生き方」の発表を工夫しよう</p>	<p>○小・中学校それぞれのめあてについて確認し、次時の発表会へむけての意識付けをする。</p>
<p>2 事業所ごとに、発表会の練習を行う。(次時の小中学生の交流をふまえて)</p> <p>(発表事業所)「発表会教室一覧」</p> <p>発表例：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇寺…座禅，写経，お茶</li> <li>・ヨットハーバー…ヨットの操舵法，ヨットの材質見本 等</li> </ul>	<p>○事業所ごとに、ポスターセッション形式で発表を行う練習をする。</p> <p>指導例：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に座禅をおこない、小学生にわかりやすく座禅の方法などを説明する。</li> <li>・体験学習で使用した実物などを示し、小学生に使い方などを尋ねながらその使用法を説明する。</li> </ul>
<p>3 本時の学習をまとめる。</p>	<p>◆〔学〕課題探究や発表の方法を、活動状況チェックやワークシート分析などを用いて探っていこうとする。</p> <p style="text-align: center;">&lt;ワークシート確認&gt;</p>